

ISC'97に参加・賛同される方は下記申込書にご記入の上、事務局までFAXまたは郵便でご返送下さい。

- 参加費：団体1万円・個人5千円、賛同カンパ1口 2千円  
■事務局：〒102千代田区飯田橋4-5-16-301  
電話：03-3262-4971、FAX：03-3237-0287  
■カンパ・賛同金送金先：  
郵便振替 00100-7-722239「戦後補償実現市民基金」  
(通信欄に「キャンペーン」と明記下さい。被害者支援カンパと区別します。)

贊同申込書

|        |                                                                  |         |      |
|--------|------------------------------------------------------------------|---------|------|
| 名前・団体名 | グループの場合は代表者と連絡責任者名をお書き下さい                                        |         |      |
|        | 英文名                                                              |         |      |
| 連絡先    | 〒                                                                |         |      |
|        | TEL:                                                             |         | FAX: |
| 参加の方法  | 個人 ・ 団体                                                          | 参加 ・ 賛同 | 口    |
| ○印を    | 世話人を引き受けます・できません<br>(団体の場合は担当者名: )<br>(個人は肩書き: )<br>具体的な活動の希望・予定 |         |      |
| 意見・提案  |                                                                  |         |      |

**INTERNATIONAL SUMMER CAMPAIGN FOR REDRESS '97****ISC'97**

## 日本軍「慰安婦」被害者の

# 生きているうちに補償を！



ガンコで冷たいニッポンから、すなおであたりまえの社会へ

「生きているうちにすなおに謝って欲しい。悪かったと思うなら補償を実現して欲しい…」あたりまえの声なのに、聞こえないふりをして御託を並べる頑固で冷たいニッポン。国の体面や利益より、人権がなにより大事と胸はっぺいえる社会に21世紀までに変えましょう。

半世紀以上も知らぬ存ぜぬで被害者をうち捨ててきた日本政府に、「公式謝罪と補償の実現を！」といま一度みんなで声を上げ、国境を越えた市民の力で被害者の生きているうちに、きちんと戦後補償を実現させましょう。

この夏、韓国で、台湾で、フィリピンで、インドネシアで、そして私たちもがんばります。

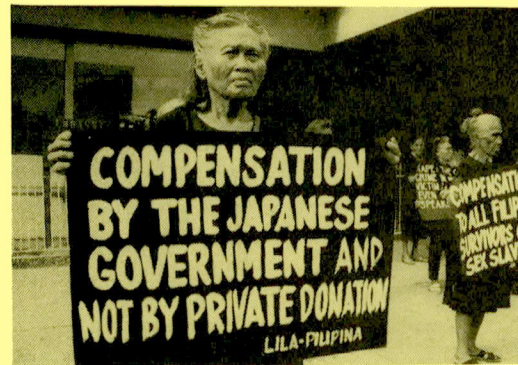
\*写真は「国民基金」に抗議に出かけ警官に阻止された韓国の被害者李容洙(イ・ヨンス)さん(95.7.薨、今年68歳)

# あなたもISC'97に加わって下さい。みんなの力で歴史を一步前に進めましょう

## ●韓国では：

韓国挺身隊問題対策協議会が毎週水曜日の日本大使館への抗議行動、国際アピールの署名を集めます。8月ジュネーブで開かれる国連人権小委員会に被害者の代表を送ります。

(\*ソウルの日本大使館前の抗議行動はすでに150回を超える, 97. 6.)



●フィリピンでは：リラ・ピリピーナが月2回日本大使館に抗議行動を行います。7月12日、9月5日に被害者支援コンサートを開きます。国際アピールの署名を集めます。

(\*マニラの日本大使館前で訴える被害者たち)



●台湾では：台北市婦女救援社会福利事業基金が日本政府と「女性のためのアジア平和国民基金」に反対する意見広告を新聞に出します。ビデオも製作します。国際アピールの署名を集めます。

(\*記者会見で訴える前副大統領候補の王清峰弁護士と尹貞玉韓国挺対協共同代表, 96. 2.)

## ●インドネシアでは

個人補償は必要ないとするインドネシア政府を相手どって裁判を行っています。日本政府と「女性のためのアジア平和国民基金」にも抗議します。

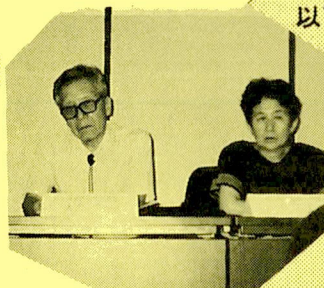
(\*ジョクジャカルタの被害者たち, 95. 11.)



## ●そして日本でも

以下の企画を予定しています。

- ・国際アピール署名運動
- ・ジュネーブの国連人権小委員会などへのアプローチ
- ・政党・議員へのロビー。
- ・労働組合や各団体などへの働きかけ
- ・「女性のためのアジア平和国民基金」への批判と公開論争
- ・被害者への支援と交流、激励
- ・意見広告運動
- ・記録映画・ビデオ製作
- ・被害者が描いた絵の巡回展覧会
- ・各運動、イベントなどの共同の広報機能の強化



## ISC'97 戦後補償実現！INTERNATIONAL SUMMER CAMPAIGN' 97 とは…

(目的) 戦後補償要求運動、とりわけ「国民基金」に反対し「慰安婦」問題の真の解決を求めてきた内外の運動の連携を強化し、日本政府に対する戦後補償実現の要求を一層強めます。

(期間) 97年7月～9月の3ヵ月間

(各国の提携団体) 韓国挺身隊問題対策協議会、台湾、フィリピン、インドネシア、オランダ、ドイツなど各地のグループと連携して動きます。

(参加の仕方) 参加の方法は、柔軟な勝手連方式とし、イベントや行動ごとの参加もできます。楽しく、元気が出るような、とりわけ被害者を励ますことができるような運動をめざします。各国の運動体との連携を大事にするとともに、事務局と世話人、ボランティアによる自発的な運営を基本とし、どなたでも参加できる分かりやすい市民運動をめざします。

(代表世話人＝大島孝一・川田文子)